

## 学術フォーラムの概要について（事後報告）

- 1 名称：平成30年夏に複合的に連続発生した自然災害と学会調査報告
- 2 日本学術会議以外の共同主催団体等：
  - ・主催：防災学術連携体
- 3 開催日時：平成31年3月12日（火） 10時00分～17時30分
- 4 開催場所：日本学術会議講堂
- 5 開催趣旨：

平成30年夏から秋にかけて連続発生した北海道北部地震、西日本豪雨、台風21号、北海道胆振東部地震などの自然災害に焦点を当て、関係する各学会による調査の報告を行う。さらに、今後連鎖する気象災害にどう備えていけば良いのか、地震と気象災害などの複合災害にどう備えれば良いのかを議論する。
- 6 参加人数：
  - 講演者等：43名
  - その他の参加者：273名
- 7 特記事項：
  - ・報道関係者が13名（12社）参加し取材された。本フォーラムの内容について、翌日以降の新聞記事等に掲載された。
  - ・本学術フォーラムの動画・音声をインターネットにて同時配信し、80名程度の聴講があった。
  - ・講演およびポスター発表で用いられたスライド内容は、後日防災学術連携体のホームページにも掲載し、広く一般に展開される予定。
  - ・当日配布されたアンケートには168件の回答があり、うち92件には具体的な意見が記されていた。全体としては非常に好評で、今後の活動の参考となる前向きな意見が多くあった。この情報は、フォーラムの時間内における意見とともに、今後の日本学術会議内および関連学会における防災関連の活動の参考となる。

以上